

「食欲の秋」(上岡)

いつまで暑さが続くのか…と置いていたら、一気に朝晩冷え込むようになってきましたね。でも、お昼間はポカポカお出かけにはちょうど良い気候で、いよいよ秋がやってきました！「秋」といえば色々ありますが、私は何はなくとも「食欲の秋」です(*^^*)先日大阪に行くと、あちらこちらのデパートで物産展の催事をしていて、その上カフェやレストランでは秋の味覚の期間限定メニューが沢山♡ランチにお茶に、入るお店に迷いに迷ってしまいました。通りすがりには「揚げたて芋けんぴ」目当ての行列を見つけ、並ばずにはいられず…もちろん購入！旬のさつまいもをお店で揚げて、出来立てを販売していて、中はホクホク、外はカリカリで、全然しつこい甘さではなく、やみつきになる特別な芋けんぴでした。旬の食材をいただき、美味しく元気に！やってくる寒〜い冬に備えたいと思います。



知っところ！「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【税収が3年連続で過去最高】

2022年度の財務省の発表によれば、税収は前の年度よりも4兆995億円ほど増えて71兆1374億円となりました。70兆円を超えたのは初めてで、3年連続で過去最高を更新しています。税収が増えた要因としては、物価高による消費税収が増えたこと。コロナ禍からの企業業績の回復による法人税収が増加したこと。さらには賃上げの動きが広がったことによる所得税収が伸びたこと。いわゆる基幹税であるこの3つの税収が、増加したことが要因と考えられます。税収で一番多かったのが消費税の23兆793億円、次いで所得税の22兆5217億円、法人税の14兆9398億円で、この基幹税の合計で60兆円を上回っています。リーマンショック後に一番落ち込んだ2009年度の38.7兆円と比較すると、約22兆円も上回っています。一方で歳出については、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対応する予算を計上しながらも、結果的に使う必要のなくなった不用額が11兆3084億円と過去最大となりました。



世界の偉人伝

今月の偉人：【アルキメデス】

アルキメデスは古代ギリシアを代表する科学者です。シチリア島シラクサの生まれで、科学のみならず数学・物理学・天文学などマルチな才能を発揮した天才でした。「アルキメデスの原理」として知られる浮体の原理やこの原理、円周率の計算、アルキメディアン・スクリューなど現在も活用される数多くの功績を残しています。その時代には珍しい実証主義の科学者で、実験や観測を重視し、寝食も忘れて研究に没頭しました。「自分を超越し、世界を捉える」を体現した人物だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【hangry】

おいしいものを食べると、ハッピーな気持ちになりますよね。逆にお腹が空いていると、ちょっぴりイライラすることはありませんか？そういう状態のことを“hangry”といいます。「空腹」の“hungry”と「怒り」の“angry”を組み合わせた造語です。まだ新しい言葉なのか、掲載していない辞書もありますが、掲載している辞書の例文は“People often get hangry when their blood sugar level is low.”「血糖値が低いと、人は空腹で怒りっぽくなるのがよくあります」です。



今月のトピック：【メロンソーダの素（もと）】

国産メロンの果肉を使った「メロンソーダの素」が人気です。炭酸水で割ったメロンソーダは、淡い色合いに優しい甘さで、本物のメロンを食べているようなぜいたくな味わい。昔ながらのメロンソーダとは別物のおいしさです。牛乳などで割ったりバニラアイスにかけたりとアレンジも自由。昭和レトロな喫茶店の定番メニューの進化系です。



才人の言葉

新しい舞台に立つことを
恐れるな

スペースXなどのCEOであるイーロン・マスクの言葉。慣れ親しんだ事業を続けるのも大切だが、新たな分野にチャレンジする経験も人生を豊かにするだろう。

窓拭きに適しているのは湿度の多い明け方か曇りの日です。空気中の湿気が汚れを浮き立たせるので窓の汚れが落ちやすくなります。「明日は快晴」の予報なら、翌日は早起きをして湿気のあるうちに窓拭きを済ませましょう。年末の大掃除に向けて少しずつ！

知得する知恵代表

振り向けばあそこにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【20年後に後悔しない商売】

商売において大事な資質とは何でしょうか。答えは十人十色だと思えますが「新・経営の神様」の異名を取る稲盛和夫さんは、苦難続



きだった実体験をもとに「何事も誠実であれば踏み越えられないこともないし、誠実であれば一目置かれる」というメッセージを若い世代に残しました。社会貢献の先駆者でもある稲盛さんの人生が、誠実さと利他主義の二本柱に支えられて

いたことはご存じの方も多いでしょう。「人のため世のためを思い仕事をする」とが経営の原点だと、繰り返し語っていました。また日本の将来についても思慮深い洞察を持っていました。日本伝統の芸事が持つ「礼」の精神を尊び、経済力よりも品性や礼儀を重んじ、周囲の国々から尊敬される国になることを望んでいました。誠実さ、利他心、品性、礼儀。どれも利益に直結したものではありません。誠実で利他心にあふれ、品性と礼儀が備わっていても、自社の商品やサービスでお金を生み出す力がなければ、ただの良い人になってしまうかもしれません。けれど今はお金を生み出す力が乏しくても、人柄の良い人は周囲から愛されて応援されるでしょう。逆に、お金を稼ぐ力はあっても性格の悪い人の行く末は、皆さんが想像するとおりです。もちろん何事においてもバランスは大事です。しかし5年後、10年後、20年後にどうなっていたいのか、そこを見て商売をしている人は、目先の損得に一喜一憂することより大事なことがあることを、よくお分かりだと思います。精神性が上がると、今までと同じ出来事でも見え方や捉え方が変わってくるものです。自己成長の目安にしたいものですね。

トナリの本棚

【運動脳】

スウェーデンの精神科医であるアンデシュ・ハンセンのベストセラー。有酸素運動で脳が増えて活性化すること。きっと明日から歩きたくなる一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎◎◎